

令和8年（2026年）2月16日

報道関係 各位

真庭市役所

# 岡山県広報コンクール 「広報写真の部 一枚写真」で 広報まにわ2025年10月号表紙が「特選」

令和7年岡山県広報コンクールにおいて、「広報写真の部 一枚写真」に出品した「広報まにわ2025年10月号 表紙」が特選となりました。

つきましては、取材くださいますようお願ひいたします。

## 概要▶

1.名 称 令和7年岡山県広報コンクール（主催：岡山県）

### 2.真庭市の出品分野

○広報紙 市部	広報まにわ 2025年12月号
○広報写真の部 一枚写真	広報まにわ 2025年8月号 表紙
一枚写真	広報まにわ 2025年10月号 表紙

3.結 果 ○広報写真の部 一枚写真 広報まにわ 2025年10月号 表紙 特選

4.その他

- ・広報まにわ2025年10月号は真庭市ホームページに掲載しています。
- ・詳細は別紙岡山県プレスリリースをご覧ください。

## 問い合わせ先・発信元▶

総合政策部秘書広報課（担当 村松）  
TEL0867-42-1163  
FAX0867-42-1353

## 受賞作品概要

この号では、新しく完成した真庭市内にあるおでかけスポットを集めたリーフレット「まにわこども おでかけマップ」を紹介しています。その内容につながるよう、リーフレットに掲載している公園の一つで子どもが楽しそうに遊んでいる様子を撮影し、掲載しました。



受賞した写真の掲載ページ（2025年10月号表紙）

令和8年2月16日

# お 知 ら せ

課名	公聴広報課
担当	國分、伊原
内線	2051、2055
直通	086-226-7154

## 令和7年岡山県広報コンクールの入賞作品を決定

県では、市町村の広報活動の充実と向上を図るため、毎年「岡山県広報コンクール」を実施しておりますが、このたび、令和7年の入賞作品を別紙のとおり決定しましたので、お知らせします。

なお、各部門の特選作品は、公益社団法人日本広報協会主催の全国広報コンクールに推薦しています。

### 記

#### 1 審査対象作品

市町村が令和7年に作成した広報紙、写真及び映像で、市町村から応募があったもの

#### 2 入賞作品

別紙のとおり

#### 3 審査委員（敬称略）

##### （1）広報紙・広報写真の部

田中 雄一郎（グラフィックデザイナー/プランディングディレクター/クオデザインスタイル代表）

立石 環（山陽新聞社編集局ニュース編集部長）

戸川 真由美（岡山県総合政策局公聴広報課長）

##### （2）映像の部

原田 正雄（NHK岡山放送局コンテンツセンター長）

戸川 真由美（岡山県総合政策局公聴広報課長）

#### 4 応募数

（1）広報紙の部	・市 部	12点（12点）
	・町 村 部	5点（5点）
（2）広報写真の部	・一枚写真	25点（21点）
	・組み写真	7点（11点）
（3）映像の部		9点（9点）※（ ）は昨年の応募数

## 令和7年岡山県広報コンクール入賞作品

## 1 広報紙の部

## ○市部（参加12点）

区分	市町村名	広報紙名
特選	美作市	広報みまさか（9月号）
入選	高梁市	広報たかはし（11月号）
佳作	岡山市	市民のひろば おかやま（8月号）
佳作	赤磐市	広報あかいわ（1月号）

## ○町村部（参加5点）

区分	市町村名	広報紙名
特選	西粟倉村	広報にしあわくら（8月号）
入選	美咲町	広報みさき（9月号）
佳作	矢掛町	広報やかげ（12月号）

## 2 広報写真の部

## ○一枚写真（参加25点）

区分	市町村名	写真掲載紙	備考
特選	真庭市	広報まにわ（10月号）	表紙
入選	久米南町	広報くめなん（11月号）	表紙
佳作	笠岡市	広報かさおか（6月号）	表紙
佳作	高梁市	広報たかはし（5月号）	表紙
佳作	美咲町	広報みさき（8月号）	表紙

## ○組み写真（参加7点）

区分	市町村名	写真掲載紙	備考
特選	備前市	広報びぜん（8月号）	表紙

## 3 映像の部 (参加 9 点)

区分	市町村名	題名
特選	美作市	美作物語 Story 1 誰も知らない美作 番茶
入選	岡山市	なんなん岡山！ # 3 ~世界とつながる 岡山市編~
佳作	矢掛町	広報やかげの部屋 (令和 7 年 9 月号)

## (参考) 広報紙の部・広報写真の部 特選作品表紙

広報紙・市部



広報みまさか 9 月号

広報紙・町村部



広報にしあわくら 8 月号

## 広報写真・一枚写真



広報まにわ 10 月号

## 広報写真・組み写真



広報びぜん 8 月号

## 令和7年岡山県広報コンクール審査員講評

### ○ 特選作品について

部 門		市町村名 (過去の 受賞歴)	審査において評価された点
広報紙	市 部	美作市 (2回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>表紙のデザインやレイアウトがすっきりして、タイトルカットも洗練された印象。特集はかなりの文字情報だが、罫線で区切った縦書きは読みやすかった。</li> <li>写真、イラスト、表の活用により、誰もが読みやすい紙面となっている。</li> <li>特集内容も人に焦点をあてた深掘り記事で読み応えがあり、美作での出産、子育ての現状が分かる。関連情報もしっかりと盛り込み、住民の关心に応えられる内容となっている。</li> </ul>
	町村部	西粟倉村 (3回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>色彩に統一感があり、一見して広報紙とは思えないお洒落なつくりで全体的に読みやすいが、タイトルの強弱などは、もう少しメリハリがあってもよい。</li> <li>村外へのPRにも活用できそうな内容となっている。</li> <li>生物多様性を身近な活動の中に落とし込んでいて興味深い。</li> <li>村民紹介リレーは活動内容も分かる写真を併用しておりよかった。</li> </ul>
広報写真	一枚写真	真庭市 (3回目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>「まにわこども おでかけマップ」の紹介記事につながる写真だが、子どもの表情がよく、ピントも合っている。</li> <li>画として洗練されており、バランスが取れている。</li> </ul>
	組み写真	備前市 (初受賞)	<ul style="list-style-type: none"> <li>花火や浴衣姿の子どもたちなど、さまざまなモチーフを配置することにより、夏の祭りの様子が伝わってくる。</li> <li>特産品である備前焼の風鈴も取り入れ、市の魅力が伝わる写真となった。</li> </ul>
映 像		美作市 (初受賞)	<ul style="list-style-type: none"> <li>映像の美しさ、ストーリー、配役など、完成度が高い。</li> <li>テーマとなっている地元産品とともに、市の持つ穏やかさなどの魅力がしっかりとPRできている。</li> <li>美作番茶を軸にしながら、お茶農家で寡黙な父親の思いと、お茶への思いを持ちながらも揺れ動く娘を描いたよい作品。家族それぞれの思いが共感を呼ぶ内容となっている。</li> </ul>